

東日本大震災から3ヵ月たちました。まだまだ被災地の本格的な復興や原子力発電所の安定には至っていないことが報じられています。今まで繰り返し言われてきた安心・安全な社会や学校づくりということを、もう一度考えることが求められています。

生徒が学校にいる時に大震災が起ることを想定して、生徒を帰宅させるのか、学校に留めるのがいいのか。家庭との連絡はどう確保し、どのようにするのか。地域や一般の人が避難してきたときは、誰がどのように対応するのか。さまざまな課題があります。もう一度しっかり考えていかなければならないと思っています。

### 【被災地から転入した高校生の交流会 5月14日（土）】

藤沢総合高校には、専門教育指導補助員として折原正秀さんという方がいます。折原さんは小学校から高校まで福島県双葉町で過ごし、今年3月に神奈川県伊勢原市にある東海大学を卒業しました。卒業後は双葉町に戻って家業を継ぐことになっていましたが、このたびの大震災と原子力発電所の事故のため、本校の専門教育指導補助員として勤務することになりました。藤沢総合高校には福島県から2名の高校生が転入学してきました。折原さんと藤沢総合高校に転入学した2人の生徒を含めて互いに交流し、支えあう機会を作りたいとの話がありました。被災地から鎌倉湘南地区の県立高校に転入した生徒に呼びかけたところ、当日3人の高校生が参加しました。自己紹介や農園作業、今後の活動について話し合いなどを行って交流を深めました。

### 【神奈川の高校展6月4日（土）パシフィコ横浜】

143の県立高校全校が一同に集まって中学生と保護者を対象に個別に学校説明を行いました。各校ごとのブースには工夫を凝らした展示もあり、29,000人の入場者がありました。本校からは7人の生徒が参加、学校名を言いながら学校案内を配布しました。用意した3,000枚の学校案内もすっかり無くなり、しっかり学校のPRをすることができました。翌週からテストが始まるという時期でしたが、手伝ってくれた1年次2年次生に感謝しております。

### 【駅前の迷惑行為】

駅前の商店街から本校生徒のマナーの悪さについて連絡をもらうことが多くなりました。店内にジュースを飲みながら入ってくる、大声で騒いで一般のお客さんに迷惑をかける、店の前で飲食して通行の邪魔になる、服装や髪型がだらしない。すぐに担当の先生が行って話を聞き取って来ました。少数とは言えこのような迷惑行為は明らかなマナーやルールを破る逸脱行為です。人ごととせず、自分のこととして考えることができるよう、注意を重ねていきます。

### 【学校の節電目標は昨年比で15%削減】

神奈川県では原子力発電所の事故に伴う電力需要の逼迫を踏まえて、夏季の計画停電を回避するため県教委が所管する学校や施設で節電に取り組むこと、学校では節電教育に取り組むことを決めました。平日の9時から20時の使用電力量を県立学校では昨年比15%以上抑制することを目標としています。また、6月22日の夏至の日を「節電チャレンジ」の日としています。本校でも昼休みの事務室を消灯、校長室の照明も半分にしています。学校でも様々な節電に取り組んでいきますのでご協力ください。

### 【公私合同学校説明・相談会 本校を会場に開催 8月6日（土）】

鎌倉湘南地区で開催している県立高校と私立高校の合同学校説明会を本校を会場に行うことになりました。昨年までは日本大学生物資源科学部キャンパスで行っていましたが、会場の使い勝手が悪くスペースも窮屈という反省から、本年度は本校を会場として開催することになりました。各教室をそれぞれの高校の説明会場として行います。入場者は3,500人を予定しています。ふだんの学校とは違った姿が見られると思いますので、よろしかったら是非、ご覧下さい。参加は自由です。お待ちしております。